



●季節の行事

アイヌ民族にとって、1年は、緑のサクパ（春・夏）と寒いマタパ（秋・冬）に分かれます。和人がお正月を祝うように、サクパとマタパの始まりを祝うコタンノミ（村祭り）は盛大な行事です。

雪が消えるころ、大人たちがコタンノミの準備をします。木をけずってイナウ（おいのりの道具）を作り、神酒を用意。立派な服を着た男の人たちが、カムイ（神様）に向かって地域のためにいのりをします。

ニンニンケッポ（ホタル）が飛ぶと、昔はカジキ漁の季節でした。お弁当を持って船で出発。波間に背びれが見えたら、思い切ってキテ（もり）を打ちこむ。とれたカジキはみんなで残さず「いただきます」！ アイヌの世界にまた来てくださいね、とおいのりをして、たましいをカムイの世界へ送り返しました。

風がすずしくなるころ、湖にうかぶペカンベ（ヒシの実）がおいしくなります。採りに行く前に、ペカンベ祭りをするよ。湖のカムイやいろんなカムイにいのりしてから採ることに決まっていたんだ。

●季節のごちそう

雪が消えかけると、山菜採りの季節です。マカヨ（フキノトウ）やプクサ（ギョウジャニンニク）、ピットク（オオハナウド）。オハウ（貝だくさんのスープ）に入れるのが定番ですが、プクサと豆をにこんだプクサラタッケは、新鮮なプクサのあまみでとてもおいしいです。

山菜がたくさん採れたら、かんそうさせて保存します。冷蔵庫のない時代、野菜や山菜が手に入らない季節に備えて、雪どけとともに保存食づくりが始まります。

あたたかくなると、畑にメンクル（イナキビ）やエモ（ジャガイモ）を植えます。6月の終わりごろからは、サクパの大仕事、トゥレブ（オオウバユリ）の加工。根をほり、うすやたるの中であつて、でんぷんを採ります。でんぷんは大事な食材。薬になるし、団子にして保存し、おかゆに入れてとろみをつけて食べました。

海の近くでは、マウ（ハマナス）が実をつけます。生で食べたり、干してごはんにたきこんだり。川にはサキペ（マス）が上り始めます。サキペは「夏の食べ物」という意味。ふんわりとやわらかな身はこの時期のごちそうです。

やがて雪が近づき、サケやシシャモが川を上ってくる。魚をむかえるカムイノミ（おいのり）の季節です。食べ物や道具になる魚が、今年もたくさん来るように、川をきれいにしておいのりします。最初にとれたサケを、とても大事なお客さんとしてかんげいするよ。その魚が、仲間を呼びよせてくれるんだって。

マタパになると、昔は犬ゾリが活躍しました。元気いっぱいな犬たちに「トホトホー」と声をかけて走りだそう。チセ（家）ではフチ（おばあさん）やハボ（おかあさん）が、木の皮をさいて作った糸でアットウシ（布）をおっている。山ではそろそろクマが冬眠するよ。カムイチェ（神様の家）と呼ばれる穴で、子グマが生まれるんだ。雪どけまでおやすみなさい。

クマがすっかりねむりについたころ、みんな集まってマラットコロ（宴会する）。1年の海のめぐみを使い、工夫して料理しよう。

雪が深くなると、子どもたちは雪遊びの季節です。雪合戦に、ウパシアヌ（雪だるま）作り。やがて、だんだん雪が雨に変わる。2月の雨は「シャチ神が子を洗う雨」、3月の雨は「クマ神が子を洗う雨」と呼ぶ。このころ神様たちの子どもが生まれるんだって。そうして一日一日、マタパの終わりが近づくんた。

サキペが終わると、カムイチェア（サケ）の番です。身をくしにさして「ろ」の周りに立てて焼いたり、オハウに入れたり。はだ寒くなった朝には、チボロサヨ（イクラ入りのおかゆ）であたたまります。雪がのちつくころには、スサム（シシャモ）も川を上ります。

山は自然の美りでいっぱい。カルシ（マイタケやシイタケ、ナラタケなど）はオハウに入れ、干して保存もします。ハッ（ヤマブドウ）やクッチ（サルナシ）は食べるだけではなく、くきやつるを使ってくつも編みました。ニセウ（ドングリ）やニヌム（クルミ）はラタッケ（にこみ）に。畑ではキミ（トウモロコシ）やカンボチャ（カボチャ）が収穫を待っています。

こうした季節の食材を使って、先祖の供養や、クマがとれたお祝い、カムイノミ（おいのり）など、特別な日にはすばらしいごちそうを作りました。敵立は、シト（団子）、チサッスイェ（たきこみごはん）、肉や魚や山菜がたっぷり入ったオハウ、とれたての食材や保存しておいた山菜を豆とにこんだラタッケなど。みんな集まってごちそうを食べ、トノト（酒）を飲んで、きずなを深めるのです。

スタート！ →



プクサ
(ギョウジャニンニク)



ピットク
(オオハナウド)



さんさいと
山菜採り



オハウ
(スープ)



むらまつ
コタンノミ(村祭り)



すごろく アキロー！ (すごろくしょう！)



いぬ
犬ぞり



アットウシ
(布)



カムイチェ
(神様の家)



マラットコロ(宴会)
みんなここで止まる
アイヌ語を三つ言う



スサム
(シシャモ)



ニヌム
(クルミ)



ハッ
(ヤマブドウ)



カルシ
(キノコ)



魚をむかえる
カムイノミ
(おいのり)



ふゆ お あめ
冬の終わりの雨
ゴール!!



ウパシアヌ
(雪だるま)



ゆき あそ
雪遊び



だいしゅうかく
大収穫
3コマ進む



ペカンベ
(ヒシの実)



サキペ
(マス)



トゥレブ
(オオウバユリ)
の加工

サクパ
(春・夏)



マキリ(小刀)を
なくしてふりだ
しにもどる



ニンニンケッポ
(ホタル)



カジキ漁
大漁!
2コマ進む



2コマもどる



キテ
(もり)



トゥレブ
(オオウバユリ)

薬にもなる
んだって!